

友達の大切さ

高三

私は、人権問題で重要なことは、友達の大切さや仲間の大切さを理解し、「いじめ」がなくなることだと思いません。

いじめが発生したとき、そのいじめられている人を一番に助け、友達になることが大切だと思います。助けることは、とても大変なことですが、いじめられている人の辛い気持ちや悲しい気持ちを考えて、「勇気をふりしぼること」が、いじめがなくなる一つの方法だと思います。私は、いじめを見て見ぬふりをするのは、いじめている人と同じ立場で同じ罪であると思っています。助けることは悪いことではなく、むしろいいことをしているので、自信を持って助けて、友達になるとよいと思います。

友達や仲間の大切さは、なかなかわからないことが多いです。一人になったとき相談したいことがあってもできない。そのような状況になって、

初めて友達を大切にしなければいけないことがわかり、いじめられている友達がいれば、決して一人にしてはいけないと思うでしょう。

また、普段当たり前のように一緒にいるから気付きにくいのですが、私が、泣きたいとき、辛いときなどを思い出すと、そばにいてくれるのはいつも友達でした。自分が辛いとき、誰もそばにいないと、誰もが辛い気分になると思います。このようなことから、いつもそばにいてくれる友達を大切にして、いじめられている友達がいたら助けなければいけないと思いました。

私は、友達がいることの大切さや幸せ、支えてくれる人がいるというこの大切さを感じています。そして、何より、なんでも相談ができてけんかをしてもしちんと仲直りできて、笑いあえるという存在がいることを、とてもありがたく、いつも感謝しなくてはいけないと思っています。笑いあえる友達がいて、一緒に行動でき、本気でぶつかりあえる友達がいて、心に余裕ができて楽しく過ごせると思います。

私は今回、人権問題について作文を書くにあた

り、いじめとはどれだけ辛いことなのかや普段何気なく一緒に笑いあって一緒に帰っている友達の大切さやありがたさをみなさんに知って欲しいと思います。書き進むにつれ、私にとっての当たり前は、別の気持ちを持った人には当たり前ではないのかもしれないと思いました。私は、友達や仲間の大切さを感じて欲しいと思います。

「ありがとう」という言葉を感謝の気持ちがあるとき当たり前に使うように、笑い合えたときや楽しいとき、友達という存在が当たり前になっていたのではないかと見つめ直すことができました。だから、私はこれから、いじめられている人がいたら、その人の立場になって考え、助けられるような勇氣をもった強い人になりたいと思います。そして、今という時間、友達と一緒に笑い合えているということを大切にしていきたいです。